

てんき新聞

09.5. No.144
 発行 市岡日出夫
 発着 0883-88-5292

06年三月、独立村を宣言し誕生した活彩社
 谷村。今年には4年目になります。
 村民も二二三名(4月現在)となり
 一歩ずつ発展してきます。

活動の中心の畑耕作も二年
 目より、ばあば連の活動
 がエネルギーアップで、順
 調に、ツカガキ、そび互
 中心に多くの成果を
 あげています。

課題は、活動を
 ばあば連だけに
 なりがちである
 ことです。

二年目より、元気
 印の旗、運動
 は、自主参加と
 はいえ、多々の
 毎年の参加で、
 一人暮らし、二人暮らし
 などのお母さん、お父さん
 さんが、元気な活動
 が、若くはサポートとして
 2、祖谷の空に「祖谷村」
 の旗がはためいています。

課題は、組織的にサポートが
 ききかた組みを作る必要があ
 ります。地域を守る為には、
 地域住民
 が、アイデアと行動力を示す、
 ことが大切です。

茅葺き屋根の修理、再生につ
 いて、三好市
 地域再生事業に協力して、一歩
 前進してまいります。



進めるこ
 とが出来
 ました。

修理につ
 いては、大枝地
 区武家屋敷
 と釣井ちい
 いありが使
 行出来ま
 した。

また、落合
 地区長岡家
 の葺きか
 えの實現、

茅葺きこの技術の伝承、茅葺き家の再現にむ
 けた、東祖谷地区の組織として「結ひ」いまある
 を結成出来たこと、これからの活動の中心に
 なるべき、落合地区や茅葺きの持主の人など
 の参加がスタートしました。

この、小十郎一歩ですが、確実に自らの意を
 踏み出す、ことが出来たことは大きな意味があ
 るとおもいます。

課題は、茅葺き屋根を増やすことだけに終
 わることは、今まがと同じ道を歩くことに
 なりかねません。



4年目になる祖谷
 村に、遂に観光大
 使が誕生し
 ました。八ヶ岳のケチチチさんとして知る人
 ぞ知る村上賢治さんが自ら「祖谷村観光
 大使」と名のり、ブログを開設しました。
 数年前まで、東祖谷久保に住んで、各々
 面が才能を發揮し、祖谷の人より祖谷を愛
 し続ける、10年「祖谷の」となりました。
 知るところで、10年「祖谷の」となりました。
 今じゃ、ふらふらと軽ワゴンを運転し、愛犬ゆ
 と共に祖谷に来たとおさへば、祖谷のあつ
 こころに出没。一ヶ所にある事、数分が動きま
 めり、夕六、五時とすべれば、ほろ酔い気分
 で、祖谷を楽しんでいます。よろこび、

http://www.i-netwave.or.jp/~ken@naki/

言葉に響いた心
 幸せと便利はイコールではない

